

# 令和5年度事業計画

## 第1章 事業方針

これまでに、感染予防対策などで経済活動や社会活動、日常生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症については、政府により感染症法の位置づけが「2類相当」から「5類」に変更されることが決定しており、世の中は徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあります。

また、開催において制限のあったスポーツ・文化活動、そしてマスク着用などについては大方の規制が解除される中で、自粛傾向にあった外出や旅行など、自主的判断による感染予防策をとってコロナ禍前の日常を取り戻す動きも見られます。

本会では、この間、コロナ禍や紛争による世界的な情勢の変化により、市民生活を直撃した物価高騰の影響などで、生活に困窮された方への支援を頑張っておりました。

さらには、市から受託した地域共生ステーション事業により、積極的に地域に出向き、地区の要請による地域福祉活動や地区内活動団体等との連携による事業開催など、当初の目的としていた「人と人とのつながりづくり」を推進することができました。

さて、令和5年度は、この3年間で希薄化した人と人との関係性や、外出自粛の影響で参加者や担い手が減少しているサロン活動など、福祉や社会活動の立て直しが急務となっています。

また市では、令和5年度に、行政の縦割りや地域活動への参加支援、そして持続可能な地域づくりなどを行っていくための、「重層的支援体制整備推進事業」の移行準備事業に着手することとしており、これまで受託していた「共助の基盤づくり事業」や「自立支援強化事業」については、新たな「地域共生推進事業」として継続・拡大して実施されることになり、本会としては、この事業の受託に当たって人員体制も含めた組織を見直し対応していきます。

これまで実施してきた地域共生ステーション事業を拡大するとともに、真に市民に寄り添った相談窓口となるべく、また社協活動への理解と協力を得るために、より一層地域とのコミュニケーションを図っていきます。

### 【今年度の主な目標】

- 目標1 支え合う人づくり
- 目標2 安心・安全の仕組みづくり
- 目標3 ふれあいの場づくり
- 目標4 生涯現役を支える環境づくり
- 目標5 社協運営の基盤づくり

## 第2章 事業計画

### 目標1 支え合う人づくり

#### 1 多様性を認め合い、支え合える人づくり

だれもが社会参加活動に参加できるよう、友好的な協力関係や連帯感を醸成する。

【主な取り組み】

- ・ 広報紙、SNS、ケーブルテレビなど多様な広報媒体による福祉情報の発信
- ・ 出前講座による人権学習及び福祉学習会の開催
- ・ 地域別担い手養成講座の開催
- ・ ボランティア入り口講座の開催

- 拡充**・ 権利擁護に関する支援者養成講座《実務編》の開催
- ・ 共同募金運動の推進

#### 2 福祉委員の資質向上と活動支援

福祉委員が、困っている人がいないかみつけ、手助けが必要な人がいれば関係者に知らせ、暮らしに必要な情報をひろめて、一人で悩む人をつくらないようにつなげる活動ができるよう支援します。

【主な取り組み】

- 重点**・ 福祉委員研修会の開催
- ・ 地域福祉委員会の開催

- 拡充**・ 地域福祉委員会合同会議の開催

### 目標2 安心・安全の仕組みづくり

#### 1 包括的・継続的な地域ケアによる支援

支援を必要としている方やその家族が、地域において安心して日常生活が営めるよう、保健・医療・福祉・地域で包括的に連携しながら支えます。

【主な取り組み】

- 新規**・ 福祉なんでも相談会の開催

- 重点**・ 「地域共生ステーション」による総合相談支援活動

- 新規**・ 社会参加活動への参加支援

- 拡充**・ 地域カルテづくり

- 拡充**・ 生活福祉資金事務の受託実施

- ・ 福祉サービスの利用援助と日常的な金銭管理
- ・ 家計に問題が生じている相談者に対する家計改善支援

- 拡充**・ 障害がある方へのホームヘルプサービスの運営

- ・ 介護保険制度によるホームヘルプサービスの運営
- ・ 京丹後市網野デイサービスセンターの運営
- ・ やさか老人保健施設ふくじゅの運営

## 2 地域全体で支える仕組みによる支援

市民や事業所等が主体的に参画している支え合いの仕組みにより、連携・協働により、地域全体で支え合いを実践します。また、新たな生活支援サービス等の検討を行います。

【主な取り組み】

- 新規**・新しい包括的な地域づくり支援体制の構築
- 拡充**・生活支援サービス検討会の開催
- 重点**・地域のサービス提供主体間の連携の体制づくり
- 重点**・市民が担い手として権利擁護支援者となる仕組みづくり
  - ・高齢者等見守りネットワークの充実
  - ・災害時の支援を含むボランティアセンターの運営
  - ・地域福祉活動支援雪すかし事業による支援
- 新規**・雪下ろし助成事業の新設検討
  - ・フードパントリーの実施

## 目標3 ふれあいの場づくり

### 1 地域福祉活動の活動場所の確保

地域内で地域福祉活動を行うための拠点となる場所や資源について検討し、活動拠点づくりを推進します。

【主な取り組み】

- 新規**・新たに地域づくり活動支援員（仮）を配置
- 重点**・地域づくりの活動支援

### 2 市民によるふれあいと交流の場づくり

すべての人が地域でつながりを持ちながら暮らしていけるよう、居場所づくりや交流の場づくりを支援します。

- ・住民の交流やサロン活動の支援
- ・つながりづくり講座の開催
- ・おためしサロンによる新規活動支援
- 新規**・新たに地域づくり活動支援員（仮）を配置（再掲）
- 重点**・地域づくりの活動支援（再掲）
  - ・婚活支援のためのイベントの開催

## 目標4 生涯現役を支える環境づくり

### 1 健康づくりの推進

生涯現役で健康で生き生きとした生活をおくることが出来るよう、健康づくりや食育に関する活動を支援します。

【主な取り組み】

- ・健康維持向上のための啓発

- ・介護予防活動の支援
- ・食を通じた交流の場づくりの支援
- ・食をテーマとしたオープンミーティングの開催

## 2 社会参加しやすい環境づくりの推進

誰もがいつでも地域活動などに参画できるよう、その手段の確保とバリアフリーとユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。

【主な取り組み】

- 拡充**・シニアデビュー講座の開催
- 拡充**・研修や講座、イベントを通じた社会参加のきっかけづくり
- ・福祉有償運送事業の実施

## 目標5 社協運営の基盤づくり

### 1 人材育成

人材育成基本方針に基づき、職員の資質及び能力の向上を図り、質の高いサービスを将来にわたって持続的に提供することで、地域や市民の満足度を高め、地域福祉の推進を実現できる職員の育成を図ります。

【主な取り組み】

- ・役職員への研修機会の提供
- 新規**・キャリアパスの検討
- 重点**・きょうと福祉人材育成認証制度を活用した福祉人材確保への取組

### 2 組織運営の強化

事業計画やアクションプラン等に基づき、効率的・効果的な組織運営を図るとともに、社協活動を「見える化」することで会員への理解と協力をお願いする。

【主な取り組み】

- 新規**・社協活動の「見える化」の検討
- ・寄附金及び社協会員制度の理解と啓発の推進
- ・事業の継続・見直し及び新規事業の検討
- 重点**・事業継続計画（BCP）の策定

### 3 地域福祉の基盤づくり

職員が積極的に地域に出向きコミュニケーションを図る中で、支所委員会及び地域福祉委員会と連携して地域課題に取り組み、地域内での社協活動を推進することで地域福祉を支える基盤づくりを実施する。

【主な取り組み】

- 新規**・重層的支援体制の構築
- 重点**・地域とのコミュニケーションの強化
- 拡充**・支所委員会及び地域福祉委員会の合同会議の開催
- ・第6回京丹後市社会福祉大会の開催